

「2017県展」の審査結果及び入選作品展について

県展は、兵庫県の芸術文化の振興に資することを目的に、県内に生活し、日頃から美術作品の制作活動に励んでいる方を対象とした公募展です。1962年（昭和37年）から毎年開催され、今回で55回を迎えました。

今年は、絵画、彫刻・立体、工芸、書、写真、デザインの6部門で募集し、合計544点の応募がありました。厳正な審査の結果、入選作品197点、そのうち「県展大賞」などの入賞作品40点が別添資料のとおり決定しました。

については、入選作品展（計197点）を下記のとおり開催します。

記

1 主催

兵庫県、兵庫県立美術館、神戸新聞社、公益財団法人兵庫県芸術文化協会

2 会期等

(1) 会 期：7月29日（土）～8月19日（土）

(2) 休 館 日：月曜日（7月31日、8月7日、8月14日）

(3) 開館時間：午前10時～午後6時（入場は午後5時30分まで）

最終日の8月19日（土）は午後2時で閉展（入場は午後1時30分まで）

3 会場

兵庫県立美術館王子分館 原田の森ギャラリー 2階大展示室

（神戸市灘区原田通3丁目8番30号 Tel：078-801-1591）

4 観覧料

無料

5 添付資料

(1) 2017県展 審査結果について

(2) 2017県展 入選者・作品名リスト

(3) 2017県展 講評

(4) 2017県展 大賞等受賞作品 図版

2017県展 審査結果について

兵庫県立美術館

1 応募状況等一覧

(1) 応募及び入選作品数一覧

部門	応募点数				入選点数		左のうち入賞点数						
	本年度 応募点数	昨年度 増減数	昨年度比 %	本年度 全体に 占める 割合(%)	本年度	%	特席	一席	二席	三席	四席	佳作	奨励賞
絵画	177	△ 42	80.8%	32.5	64	36.2		1	1	1	1	3	1
彫刻・立体	17	△ 6	73.9%	3.1	7	41.2		1	1	1	1	1	
工芸	43	8	122.9%	7.9	17	39.5		1	1	1	1	2	1
書	69	△ 5	93.2%	12.7	26	37.7		1	1	1	1	3	1
写真	211	△ 1	99.5%	38.8	73	34.6	1	1	1	1	1	2	1
デザイン	27	9	150.0%	5.0	10	37.0		1	1	1		2	
計	544	△ 37	93.6%	100	197	36.2%	1	6	6	6	5	13	4

※昨年581点

特席 県展大賞 副賞50万円
 一席 部門大賞(知事賞) 副賞10万円
 二席 兵庫県立美術館賞 副賞7万円
 三席 神戸新聞社賞 副賞記念品
 四席 (財)兵庫県芸術文化協会賞 副賞記念品
 佳作 (公財)伊藤文化財団賞 副賞5万円及び記念品
 奨励賞 県民賞(来場者の投票による) 副賞記念品
 特別賞 県民賞(来場者の投票による) 副賞記念品
 ※特席(県展大賞)及び特別賞(県民賞)は全部門を通じて各1名、奨励賞((公財)伊藤文化財団賞)は各部門1名
 ※県展大賞の副賞50万円については、部門大賞の10万円を含む

(2) 年齢・男女別応募者数一覧

部門	10代		20代		30代		40代		50代		60代以上		不明		計	
	2017	2016年比	2017	2016年比	2017	2016年比	2017	2016年比	2017	2016年比	2017	2016年比	2017	2016年比	2017	2016年比
絵画	0(0)	-7(-5)	12(8)	0(-2)	5(1)	-2(-1)	9(4)	-5(-4)	19(13)	-11(-6)	131(60)	-18(-4)	1(1)	1(1)	177(87)	-42(-21)
彫刻・立体	0(0)	-2(-2)	4(3)	1(1)	1(0)	-1(-1)	0(0)	-4(-2)	4(1)	3(1)	8(2)	-3(-1)	0(0)	0(0)	17(6)	-6(-4)
工芸	0(0)	-1(0)	5(5)	2(2)	3(1)	0(0)	8(4)	2(1)	5(3)	5(3)	21(11)	-1(-1)	1(1)	1(1)	43(25)	8(6)
書	7(4)	6(3)	7(6)	4(3)	9(7)	1(1)	5(5)	-2(-2)	17(17)	-2(-2)	24(20)	-12(-14)	0(0)	0(0)	69(59)	-5(-11)
写真	1(1)	1(1)	1(1)	-2(-1)	2(1)	1(1)	6(0)	2(0)	9(1)	-1(-2)	190(56)	-4(-7)	2(2)	2(2)	211(62)	-1(-6)
デザイン	1(1)	0(0)	5(5)	4(5)	1(1)	-4(-3)	5(1)	4(1)	5(1)	5(1)	10(0)	0(0)	0(0)	0(0)	27(9)	9(4)
計	9(6)	-3(-3)	34(28)	9(8)	21(11)	-5(-3)	33(14)	-3(-6)	59(36)	-1(-5)	384(149)	-38(-27)	4(4)	4(4)	544(248)	-37(-32)
%	1.7(1.1)		6.3(5.1)		3.9(2)		6.1(2.6)		10.8(6.6)		70.6(27.4)		0.7(0.7)		100(45.6)	

※()内は女性の人数

(3) 受付日別出品人数

	1日目	2日目	合計
一般	323	192	515
学生	16	13	29
計	339	205	544

(4) 地域別応募者数一覧

部門	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	その他	計
絵画	79	20	14	27	10	14	6	3	1	0	3	177
彫刻・立体	8	1	0	2	0	1	2	1	1	0	1	17
工芸	14	12	5	5	0	1	1	1	2	0	2	43
書	25	4	0	8	7	14	8	3	0	0	0	69
写真	92	28	22	12	22	11	11	0	7	5	1	211
デザイン	14	3	3	3	2	1	1	0	0	0	0	27
計	232	68	44	57	41	42	29	8	11	5	7	544
%	42.6	12.5	8.1	10.5	7.5	7.7	5.3	1.5	2	0.9	1.3	100

2 審査の概要

6部門、544点の応募があり、入選作品は197点。(詳細は、上記の「1 応募状況等の一覧」を参照)
 特席(県展大賞)は、写真部門、西川光子氏の《ミラー》に決定。(受賞作品は、図版を参照)
 なお、各部門の入選者は、入選者リストのとおり。

3 特徴

応募者は、6部門全体で昨年度に比べて40名ほど減少した。
 絵画部門が大幅に減少している。デザイン部門は、近年、増加傾向にある。
 審査員の講評については、別添講評を参考。

絵画部門(応募点数 177 入選点数 64)

賞	題名	氏名	居住地
一席 部門大賞(知事賞)	悠遠	木村 晃子	神戸市東灘区
二席 兵庫県立美術館賞	漂泊	藤村 温子	姫路市
三席 神戸新聞社賞	轍	角谷 紀章	神戸市東灘区
四席 (公財)兵庫県芸術文化協会賞	The galaxy	藤本 隆正	西脇市
佳作	私は差別される悲しみを知っている	五十嵐 佳容	芦屋市
佳作	昼休み	村上 信行	神戸市北区
佳作	ワイングラスの中 イザベラ絶唱	三方 斌彦	加古川市
奨励賞 (公財)伊藤文化財団賞	がじまぎー	儀間 文音	小野市
入選	仲夏	松井 幸子	神戸市西区
入選	森に生きる	おぐら せつこ	神戸市東灘区
入選	まあ座れよ	川北 俊治	神戸市中央区
入選	花みずき	中根 真知子	たつの市
入選	海峡に立つ	高野 榮四郎	神戸市長田区
入選	港残照	立野 稔夫	神戸市中央区
入選	お兄ちゃん降ろしてくれる	藤尾 清宣	明石市
入選	丹波里秋	大西 義昭	西脇市
入選	工場夜景	倉本 晋匡	宝塚市
入選	太古への想い	川東 雅子	西宮市
入選	わくわくの午後	柏村 文路	宝塚市
入選	森の中で...	板谷 明美	加東市
入選	無題	太田 康仁	西宮市
入選	ハルツゲドリ	野崎 美佐代	神戸市須磨区
入選	樹のある風景2017	清水 侃	姫路市
入選	静夜	池田 瑞子	神戸市灘区
入選	五葉松と鶏	金丸 英子	三木市
入選	ちいさな森のメロディー	坪内 智恵美	佐用町
入選	怒りは内に秘めて	井本 喜世見	三田市
入選	「生きる」	横山 進直	神戸市西区
入選	祭迫甲	吉良 幸弘	丹波市
入選	建築資材置場	祐保 明美	佐用町
入選	雨音	佐藤 二美	伊丹市
入選	複合細工	堀 敏文	姫路市
入選	ひとり遊び	山下 マリ子	播磨町
入選	庭の片隅で	西本 輝子	神戸市北区
入選	アダン	塩見 秀	加西市
入選	路地裏	檜林 真知子	神戸市北区
入選	老木	梅崎 秀夫	神戸市西区
入選	さすらいの青春	吉川 義紀	姫路市
入選	残煌	小林 素子	神戸市北区
入選	刻の記憶	大島 喜久子	神戸市西区
入選	バナナ・ワールド	小岩 真実子	神戸市灘区
入選	緑陰	村山 茂子	神戸市長田区
入選	宙へ	古田 悦子	神戸市北区
入選	淘汰されたもの	矢尾 一夫	多可町
入選	月光のささやき	寶山 和久	赤穂市
入選	KOIUTA	高萩 典子	神戸市中央区
入選	嶼	川寄 真実	大阪府大阪市
入選	梅雨入り	安田 賢二	川西市
入選	想いを綴りました	岩佐 盾香	尼崎市
入選	ふとした幸せ、その存在	谷口 政司	西宮市
入選	風の港	浅川 さちえ	神戸市東灘区
入選	龍雲	鰐原 美代	神戸市東灘区
入選	ミエナイケド アルモノⅡ	相良 みつよ	神戸市須磨区

入選
入選
入選
入選
入選
入選
入選
入選
入選
入選

詩
白幻ー白光
溶岩流間歩
ひまわり
えのころ草の詩
横断歩道
海
すぎゆく時
phase3
不在
霧月

足羽 静
尾崎 智也
島田 千晴
島田 勝
水野 洋子
増井 寿栄
杉山 英二
木庭 隆子
垣内 博雄
青木 瑞穂
川原 百合恵

明石市
大阪府豊能郡
豊岡市
豊岡市
姫路市
西宮市
神戸市東灘区
神戸市西区
播磨町
神戸市北区
神戸市東灘区

※朱字の「吉」の上は「土」

彫刻・立体部門(応募点数 17 入選点数 7)

賞	題名	氏名	住所
一席 部門大賞(知事賞)	ゆらぎ	藪下 実	京都府京都市
二席 兵庫県立美術館賞	魂の帰る所	古谷 智子	西宮市
三席 神戸新聞社賞	具体礼賛	鍬田 和見	神戸市西区
四席 (公財)兵庫県芸術文化協会賞	ユルグルー	今井 杏奈	神戸市西区
佳作	風景	宿南 泉	養父市
奨励賞 (公財)伊藤文化財団賞	なし		
入選	環飾惣	吉良 幸弘	丹波市
入選	再生ーバベルの塔よりー	安多 満	神戸市西区

工芸部門(応募点数 43 入選点数 17)

賞	題名	氏名	住所
一席 部門大賞(知事賞)	君が映る	山下 茜里	西宮市
二席 兵庫県立美術館賞	はなひらく	原田 洋子	西宮市
三席 神戸新聞社賞	光	矢野 尚子	宝塚市
四席 (公財)兵庫県芸術文化協会賞	3:00pm浜辺にて	濱 久仁子	西宮市
佳作	風の会話	奥野 多佳子	大阪府豊中市
佳作	振動細胞	田中 ひろや	丹波市
佳作			
奨励賞 (公財)伊藤文化財団賞	icy flow #5	加藤 千佳	神戸市西区
入選	素	西山 猛	芦屋市
入選	練り込み陶箱”集い”	中村 可南子	神戸市須磨区
入選	心音	山下 宏樹	三田市
入選	笑う雲	佐藤 千重	神戸市西区
入選	山里のお婆ちゃん、笑顔を有難う!	渡部 美智子	たつの市
入選	秋明菊花文様—型染め	長澤 恵子	伊丹市
入選	帳	高垣 裕子	新温泉町
入選	Dimension S	山本 諭	播磨町
入選	TRINIDAD	RAFAEL ZARAZUA	西宮市
入選	縦横螺旋V	福田 笑子	姫路市

書部門(応募点数 69 入選点数26)

賞	題名	氏名	住所
一席 部門大賞(知事賞)	花をたづぬ	西川 純子	西脇市
二席 兵庫県立美術館賞	王維詩	龍田 知香	西宮市
三席 神戸新聞社賞	ありがたし	藤本 櫻香	神戸市東灘区
四席 (公財)兵庫県芸術文化協会賞	よろこび	衣川 祐華	神戸市垂水区
佳作	徐禎卿詩	片岡 虹石	神戸市垂水区
佳作	鼓	石田 美貴	神戸市兵庫区
佳作	白雲	青木 裕美子	姫路市
奨励賞 (公財)伊藤文化財団賞	春雨山齋書事	谷川 玄龍	豊岡市
入選	青谿書院偶題	山口 松蔭	西宮市
入選	舟過錢塘有感	三村 祥苑	加古川市
入選	二月二十三日自黄岡還杭塗中作	佐々木 緋游	姫路市
入選	七言律詩	沼田 智翔	神戸市西区
入選	碧雲	八十島 聖子	西宮市
入選	流星	石川 かおる	神戸市北区
入選	万葉の歌	長山 藤雪	明石市
入選	HIBIKI	池田 まゆみ	養父市
入選	陶潜詩	柴田 妙鳳	姫路市
入選	陶淵明詩	塩谷 葉州	姫路市
入選	陰鏗詩	砥堀 麗泉	姫路市
入選	立原道造の詩	中込 玉潤	神戸市東灘区
入選	磨	平岡 帆乃佳	神戸市北区
入選	願	平岡 輝美	神戸市北区
入選	爆鳴	米岡 澄泉	神戸市兵庫区
入選	音羽山	森岡 郁恵	姫路市
入選	さくら花	伊藤 味佳	たつの市
入選	漢詩	宮本 華逕	相生市

※朱字の「爆」の「水」が点、棒、点、点 「慕」の下と同じ

写真部門(応募点数 211 入選点数73)

賞	題名	氏名	住所
一席 部門大賞(知事賞)・特席 県展大賞	ミラー	西川 光子	神戸市兵庫区
二席 兵庫県立美術館賞	足場解体	宮田 敏幸	西宮市
三席 神戸新聞社賞	成仏得脱	川端 昭延	三木市
四席 (公財)兵庫県芸術文化協会賞	北方の旅人	杉本 伸英	加東市
佳作	古桜写抄	杉本 浩之	西脇市
佳作	昭和レトロ	羽田 範子	三田市
奨励賞 (公財)伊藤文化財団賞	サングラスの女	田中 玲子	神戸市中央区
入選	とおせんぼ	米村 環	三木市
入選	陽だまりのフラミンゴ	二星 幸弘	神戸市東灘区
入選	壁中の能楽	新屋 進	芦屋市
入選	Micron Art(結露)	藤井 婦喜子	宝塚市
入選	ポート雨情	石塚 英智	神戸市灘区
入選	虚実ストーリー	小林 恭子	神戸市東灘区
入選	残照	竹内 晴行	西脇市
入選	表象	池田 重信	西宮市
入選	夢宇宙	坂本 安子	西宮市
入選	ファミリー	高杉 寛	三田市
入選	群泳	中町 敬子	宝塚市
入選	追憶	和田 忠夫	神戸市灘区
入選	その質感	浦崎 良太	三木市
入選	風の盆	高橋 喜久雄	神戸市北区
入選	昭和の匂い	和田 國雄	神戸市灘区
入選	気配	遠藤 堅衛	神戸市須磨区
入選	慈照	河津 勇三	たつの市
入選	コンポジション	林 宏典	神戸市垂水区
入選	異空間	武村 晴人	赤穂市
入選	宴	前田 弘志	神戸市長田区
入選	ワンダーワールド	清瀬 いちろう	姫路市
入選	廃校	辻森 寿美	西宮市
入選	夏の夜空に咲く花	西澤 忠雄	芦屋市
入選	Purple Swan	赤松 昌哉	神戸市中央区
入選	港景	広瀬 元治	神戸市北区
入選	菌糸の森	富永 雅久	赤穂市
入選	時時刻刻	日高 達彦	芦屋市
入選	小さな漁場に生きて	谷 登志朗	姫路市
入選	祇園囃し	吉田 弘昭	神戸市北区
入選	生物図鑑	中田 孝	神戸市北区
入選	生きる力	南 秀人	神戸市灘区
入選	虹彩	谷口 嘉枝子	姫路市
入選	少子化時代	田中 利明	丹波市
入選	神々の城壁	門 光廣	赤穂市
入選	異次元の人々	吉川 艶子	芦屋市
入選	Run～向かって	赤松 文昭	洲本市
入選	見棄てられた浜	荒木 透	西宮市
入選	ふるさと	山本 弘	三田市
入選	美少女	谷郷 むつみ	神戸市須磨区
入選	対比	中田 知恵子	神戸市北区
入選	緊迫	林 明夫	三木市
入選	宇宙遊泳	澤村 眞理子	神戸市垂水区
入選	煌めき	山口 政宏	明石市
入選	DUET	加島 光	姫路市
入選	瀑音訝する	八木 義明	三木市
入選	哀愁裏路	尾崎 寿	市川町

入選
入選
入選
入選
入選
入選
入選
入選
入選
入選
入選
入選
入選
入選
入選
入選
入選
入選
入選
入選

いこいの場
ファンタスティック
朱の尊縁
破顔一笑
道
ひまわり
Crimson
Welcome
ある町の記憶
威嚇
冬の漁港
憩いのひと時
西方
生者必滅
澄絵
わたしはペンギン？
ああ無情
迷路
おわら夜曲
COLOR MUSIC

大國 由紀子
塩津 節子
阪上 清
森本 正幸
荻野 裕
島津 貴充
山口 政子
山田 實
金井 和子
井上 行雄
今川 楨子
松本 義明
上田 聰三郎
大西 勲
山田 純一
桑田 尚子
本谷 直也
渡邊 佳視
栗飯原 誠一
遊生 光

明石市
西宮市
西脇市
芦屋市
丹波市
宝塚市
たつの市
神戸市東灘区
神戸市中央区
神戸市垂水区
たつの市
丹波市
神戸市灘区
三田市
神戸市北区
三木市
姫路市
神戸市北区
尼崎市
宝塚市

※朱字の「寛」のウ冠の下に点がつく
※朱字の「廣」の中が「黄」

デザイン部門(応募点数 27 入選点数 10)

賞	題名	氏名	住所
一席 部門大賞(知事賞)	CRY-SIS	高田 哲男	三木市
二席 兵庫県立美術館賞	WAVE-Ⅲ	山田 誠二	尼崎市
三席 神戸新聞社賞	報道で見た戦争	正土三 仁志	稲美町
四席 公益財団法人兵庫県芸術文化協会賞	なし		
佳作	冥界の妻を訪ねるオルフェ	早川 博唯	伊丹市
佳作	ゼブラゾーン	亀井 啓二	神戸市灘区
入選	Random Face 55	池上 眞	宝塚市
入選	昭和から平成へ。そして	鬼頭 幸司	神戸市北区
入選	Organic Cube	宮脇 太祐	加古川市
入選	世界で一番高級なマネキン	寶山 和久	赤穂市
入選	beauty for beauty	藤本 豊	加東市

2017県展受賞者一覧表

賞	部門	No.	タイトル	ふりがな	氏名	性別	年齢
一席 部門大賞(知事賞)	絵画	絵―33	悠遠	ユウエン	木村 晃子	女	20
一席 部門大賞(知事賞)	彫刻・立体	彫・立―5	ゆらぎ	ユラギ	藪下 実	男	58
一席 部門大賞(知事賞)	工芸	工―11	君が映る	キミガウツル	山下 茜里	女	20
一席 部門大賞(知事賞)	書	書―1	花をたづぬ	ハナヲタヅヌ	西川 純子	女	64
一席 部門大賞(知事賞)	写真	写―26	ミラー	ミラー	西川 光子	女	73
一席 部門大賞(知事賞)	デザイン	デー7	CRY-SIS	クライシス	高田 哲男	男	44

特席 県展大賞

小計 6

賞	部門	No.	タイトル	ふりがな	氏名	性別	年齢
二席 兵庫県立美術館賞	絵画	絵―43	漂泊	ヒョウハク	藤村 温子	女	64
二席 兵庫県立美術館賞	彫刻・立体	彫・立―6	魂の帰る所	タマシイノカエルコロ	古谷 智子	女	62
二席 兵庫県立美術館賞	工芸	工―15	はなひらく	ハナヒラク	原田 洋子	女	36
二席 兵庫県立美術館賞	書	書―15	王維詩	オウイシ	龍田 知香	女	55
二席 兵庫県立美術館賞	写真	写―16	足場解体	アシバカイタイ	宮田 敏幸	男	70
二席 兵庫県立美術館賞	デザイン	デー4	WAVE―Ⅲ	ウェーブスリー	山田 誠二	男	65

小計 6

賞	部門	No.	タイトル	ふりがな	氏名	性別	年齢
三席 神戸新聞社賞	絵画	絵―36	轍	ワダチ	角谷 紀章	男	23
三席 神戸新聞社賞	彫刻・立体	彫・立―4	具体礼賛	グタイライサン	鎌田 和見	男	61
三席 神戸新聞社賞	工芸	工―14	光	ヒカリ	矢野 尚子	女	54
三席 神戸新聞社賞	書	書―9	ありがたし	アリガタシ	藤本 櫻香	女	64
三席 神戸新聞社賞	写真	写―53	成仏得脱	ジョウブツトクダツ	川端 昭延	男	78
三席 神戸新聞社賞	デザイン	デー1	報道で見た戦争	ホウドウデミタセンソウ	正土三 仁志	男	45

小計 6

賞	部門	No.	タイトル	ふりがな	氏名	性別	年齢
四席 公益財団法人兵庫県芸術文化協会賞	絵画	絵―2	The galaxy	ザ ギャラクシー	藤本 隆正	男	34
四席 公益財団法人兵庫県芸術文化協会賞	彫刻・立体	彫・立―3	ユルグルー	ユルグルー	今井 杏奈	女	26
四席 公益財団法人兵庫県芸術文化協会賞	工芸	工―7	3:00pm浜辺にて	サンジピーエム ハマベニテ	濱 久仁子	女	41
四席 公益財団法人兵庫県芸術文化協会賞	書	書―21	よろこび	ヨロコビ	衣川 祐華	女	73
四席 公益財団法人兵庫県芸術文化協会賞	写真	写―3	北方の旅人	キタノタビヒト	杉本 伸英	男	66

小計 5

賞	部門	No.	タイトル	ふりがな	氏名	性別	年齢
佳作	絵画	絵―7	昼休み	ヒルヤスミ	村上 信行	男	69
佳作	絵画	絵―5	私は差別される悲しみを知っている	ワタシハサバツサレルカナシミヲシッテイル	五十嵐 佳容	女	58
佳作	絵画	絵―32	ワイングラスの中 イザベラ絶唱	ワイングラスノナカ イザベラゼツショウ	三方 斌彦	男	80
佳作	彫刻・立体	彫・立―1	風景	フウケイ	宿南 泉	女	57
佳作	工芸	工―12	風の会話	カゼノカイワ	奥野 多佳子	女	64
佳作	工芸	工―13	振動細胞	シンドウサイボウ	田中 ひろや	男	57
佳作	書	書―3	徐禎卿詩	ジョテイケイシ	片岡 虹石	女	53
佳作	書	書―18	鼓	ツヅミ	石田 美貴	女	27
佳作	書	書―24	白雲	シラクモ	青木 裕美子	女	38
佳作	写真	写―49	古桜写抄	コオウシャショウ	杉本 浩之	男	49
佳作	写真	写―69	昭和レトロ	ショウワレトロ	羽田 範子	女	77
佳作	デザイン	デー8	冥界の妻を訪ねるオルフェ	メイカイノツマヲタズネルオルフェ	早川 博唯	男	77
佳作	デザイン	デー10	ゼブラゾーン	ゼブラゾーン	亀井 啓二	男	72

小計 13

賞	部門	No.	タイトル	ふりがな	氏名	性別	年齢
奨励賞 公益財団法人伊藤文化財団賞	絵画	絵―61	がじまぎー	ガジマギー	儀間 文音	女	23
奨励賞 公益財団法人伊藤文化財団賞	工芸	工―16	icy flow #5	アイシーフローナンバー5	加藤 千佳	女	23
奨励賞 公益財団法人伊藤文化財団賞	書	書―26	春雨山齋書事	シュンウサンサイショジ	谷川 玄龍	男	34
奨励賞 公益財団法人伊藤文化財団賞	写真	写―68	サングラスの女	サングラスノオンナ	田中 玲子	女	38

小計 4

合計 40

2017県展 講評

1 絵画部門

【総評】

今年は自身の表現したい気持ちを分析して制作していくような作品が多かった。具象的な作品が多かったのは時代的なことだろう。抽象的な作品の完成度が低かったのが残念である。良い抽象作品がもう少し増えれば嬉しい。以前に比べて挑戦的な作品が減ったが、一方で、クオリティが高く落ち着いた作品が増えたことは評価できる。油彩、アクリル、日本画という技法のみならず、もっとバラエティに富んだ面白い表現媒体があってもよかっただろう。

【部門大賞・知事賞】《悠遠》

重厚な色味と確実な写生力によって空気感がうまく表現されている。応募作のなかでも描写力はずば抜けている。魚が潜んでいる場所を見る人に意識させるものであり、絵と見る側とのキャッチボールが実現されている。日本画の技法をうまく表現力と融合させた力作である。

【兵庫県立美術館賞】《漂泊》

プリントと思わせながら実は手で描かれたものである。かなり手のこんだ作品である。ドローイングは感情に左右されやすいが、そこを冷静なタッチでまとめているのがよい。画面に不思議な奥行きがあり、また画面の上方が雲か砂丘かと思わせるかのような風景であり、想像力がかきたてられる。

【神戸新聞社賞】《轍》

風景の中に作者のメランコリックな情感があふれている。しかし情感にはのみこまれず、作者は対象とある程度の距離感を保っている。構図もよく考えられており、安定感がある。色が限られ、かたちも省略されて描かれているが、風景であることが伝わってくるので、見せ方がかなり研究されていることがわかる。

【兵庫県芸術文化協会賞】《The galaxy》

すべて鉛筆で描いたもので、若い情熱と意志に満ち溢れた作品となっている。鉛筆の筆圧で紙がのびるほど描いており、インパクトがある。画材を鉛筆に限ったところも良い。

【伊藤文化財団賞】《がじまぎー》

(コメントなし)

2 彫刻・立体部門

【総 評】

昨年より出品点数は若干減ったが、素材、大きさ、手法などヴァリエーションが豊かで選考に悩んだ。一方で最初から県展向けという意識に縛られているようにも思われた。規定の制限はあるが、より自由な作品を期待する。また彫刻・立体は、見る高さによって伝わり方が大きく変わる。出品者には、台の高さなど見せ方にまで意識を持ってほしい。

【部門大賞・知事賞】《ゆらぎ》

作者なりの方法で人体を2つ並べ、1つの人体では言い切れないことが表現されている。主題、手法、材料の関係がうまくいっている。空洞の部分が「自分とは何か」という問いを感じさせるだけに、タイトルの言葉は、もっと違う選択肢がありえたかもしれない。

【兵庫県立美術館賞】《魂の帰る所》

樹脂の技術のある作り手だろう、透明感が美しい。中心の人物像や、鋭利な造形が、タイトルの穏やかな印象にとどまらない、苦悶の深さや動的な強さを感じさせる。総評でも指摘したが、台座など見せ方への気配りもあると良かった。

【神戸新聞社賞】《具体礼賛》

吉原治良の絵画を立体化するという試みであろうが、その意図を抜きにして存在感がある作品。タイトルに「具体」を謳うことで、かえって見る側の想像の幅を狭めているようにも感じられ、難しいところである。

【兵庫県芸術文化協会賞】《ユルグルー》

自分の想像する生き物を、素材や方法を工夫してかたちにしており、動きも感じられる。裏面は、あえてフラットにして表裏を分けているのだろうが、作りこんだほうが良かったのでは。

【伊藤文化財団賞】

該当作なし

3 工芸部門

【総評】

昨年より出品数が増え、質も高い。若い方のエネルギッシュな作品も多かった。陶芸、染色などの分野にとらわれず、個人で追及した県展独特の自由な作品に力強いものがある。今後も、このような分野にとらわれないユニークなもので、県展に向けてレベルアップした作品を期待している。

【部門大賞・知事賞】《君が映る》

染織の技法を使い、4分割の構成で動きを作りだして面白。描かれた「目」にインパクトがあり、《君が映る》というタイトルともよく合っている。4面それぞれが別の色であるが、破綻することなく全体でうまくまとまっている。若さがよく表れた作品である。

【兵庫県立美術館賞】《はなひらく》

形の伸びやかさがモチーフと調和している。釉薬で蓮と花それぞれの色、質感をうまく出しており、口の薄づくりも緊張感がゆるんでいない。開きかけた花、開ききった花で時間の経過を感じさせる。大きく配置すると広がりを感じさせてなお良いのではないかな。

【神戸新聞社賞】《光》

織りの作品だが、素材感を前に出すことによって存在感が出ている。染めない羊毛（原毛）で、ランダムな色や造形が自然を感じさせる。織っていることを見せず、素材そのものを生かして作品にしている。作家の力を前面に出さず、後ろからうまく出した良作である。

【兵庫県芸術文化協会賞】《3:00pm 浜辺にて》

レースやフェルトなど様々な素材を知り尽くした上で、独創的な人形を作っている。人形をそのまま作るのではなく、人形によって生まれる物語性を作品として表現している。これまでにない挑戦であり、今後の展開が楽しみ。

【伊藤文化財団賞】《icy flow #5》

（コメントなし）

4 書部門

【総評】

かなについては一定のレベルに達している作品が多く選考が困難であった。漢字については、作品のレベルは似ている。もっと若く斬新な作品が欲しかった。漢字かな混じり文が少なく、篆刻がなかったのは残念。前衛については意欲が伝わってきた。それぞれ変化をもたせながら、うまくまとめている。10代から70代まで年齢が幅広く年齢を感じさせない。それぞれ、いろいろな工夫をしている。

【部門大賞・知事賞】《花をたづぬ》(かな)

筆先が線の中を通っている。細くても強靱な線であり、紙に食い込んで躍動感がある。墨の多寡で立体的に見せている。同じトーンだとうるさかったと思うが、墨の強弱や動きによってうまくまとめている。灰色の背景に墨の黒だと暗い印象を与えてしまうが、墨の少ないところによって明るく見せている。

【兵庫県立美術館賞】《王維詩》(漢字)

古い紙を使い、墨量もしっかり入っている。立体感があり力強い。中央の「響」の字は、筆をよく使って、盛り上がりがよく出ている。また、文字の擦れをうまく作ることで、明るい感じも出ている。漢詩の内容を線で表現するよりも、見た目を重視している。黄色い紙が効果的でよく活かされている。

【神戸新聞社賞】《ありがたし》(かな)

仮名よりも画数が多い草仮名だと暑苦しくなるが、それを感じさせないように、文字の空間を大きくしたり、しぼめたりと工夫している。粗密のバランスをうまく作って、明るくなっている。

【兵庫県芸術文化協会賞】《よろこび》(前衛)

絵でも文字でもない書。読もうとするのではなく、見て味わうべきもの。発想が大事。複雑さを持ちながら簡潔にまとまっている。左右の曲線の動き、下の曲線でもなく、直線でもない線の絶妙な動き、真ん中の余白が空虚になっていない墨の飛沫の自然さ。騒がしくないが、動きを十分に持っている。力強さとは異なるエネルギーがある。書ではなく、美術としても耐えられる作品。

【伊藤文化財団賞】《春雨山齋書事》

太くはないが厳しい線が縦横無尽に行き交い、力強い躍動感にあふれている。重苦しさを感ぜさせない。

5 写真部門

【総評】

前年に比較して、作品を選ぶ楽しみに欠ける印象だった。シャッターチャンスを求めるというよりも、はじめから具体的な完成のイメージがあって、それを表現しようとする傾向が強く感じられる。その中で、伝統的なストリートスナップが入選・入賞した。偶然性に興味を持ち、もっと新しい体験を積んで、作者自身が豊かになることでその作品が豊かになっていくことを望む。

【県展大賞、部門大賞・知事賞】《ミラー》

バックミラーの像と実際の像が組み合わさったカラー写真。作者の計画性以上に偶然性と意外性の出会いが画面を作り上げている。バックミラーが効果的に画面に取り込まれ、実際の光景と重層するなどモチーフが多様であるにもかかわらず、どこかレトロな感じも醸し出し、日常の中にカメラアングルを常に追い求める作者の姿勢が感じられる。

【兵庫県立美術館賞】《足場解体》

モノクロによる工事現場の光景。単純なスナップのようだが、背景の足場の直線が奥行と距離感のダイナミズムを構成し、それらを瞬間的に構築しシャッターを押す力量を感じさせる。色の要素を排除することでかえって日常のリアリティが前面に押し出され、作者の心情が画面に示されている。

【神戸新聞社賞】《成仏得脱》

4面によるモノクロ写真。火葬場での厳粛な骨上げの情景をとらえたドキュメントであるにもかかわらず、箸をクローズアップすることで、箸と骨の対比といった造形的な作者の関心もうかがわせる。とかくタブー視されがちな人間の死をあえて扱う作者の姿勢に、場の臨場感を伝える写真の可能性を改めて認識させてくれる。組み点数は再考すべきでは。

【兵庫県芸術文化協会賞】《北方の旅人》

旅を扱ったカラー写真。人生はすべて旅につながっていく。モノクロが多い入賞作品の中で、あえて色彩が刺激的で、ストーリー性が前面に出ているわかりやすい作品。最初に作者に完成されたイメージがあって、それに従って撮影された、作り込まれた印象を感じさせる。

【伊藤文化財団賞】《サングラスの女》

アクリルマットによる作品。ガラスに反射するイメージがさらにアクリルの表面に反射するといった複層的な視覚がユニークな効果をもたらしている。

6 デザイン部門

【総評】

作品数が昨年よりも増加したことはよかった。内容は大きく変わっていないが、新鮮な作品もいくつか見られた。着想に加え、額装などの仕上げ、最終的な見せ方にも気を配ってほしい。出品作はグラフィックなど平面が多いため、より多様なデザイン、たとえば立体系、プロダクトデザインなどが加わると、活発になるのではないか。メッセージ性を強く打ち出したものがあったのもよいし、若い方の応募も増えてほしい。

【部門大賞】《CRY-SIS》

仕事量が圧倒的で、力強く、見ごたえがある。側面を含め、細かいところまで描きこまれ、ストーリーや奥行きがある。宗教は扱いづらいモチーフだが、現代的問題でもある。またタイトルが言葉遊びになっていて面白い。迷いなくやりたいことが表現できている。

【兵庫県立美術館賞】《WAVE-Ⅲ》

丁寧で緻密な美しさがある。薄い線描や色のコンビネーションなど、近寄って見るとその魅力がよく分かる。現場での作業を積み重ねた結果であり、紙の選択も発色の良いものを選んでいる。このような技術は重要である。

【神戸新聞社賞】《報道で見た戦争》

モチーフ自体は既視感があるが、戦争というテーマ（今回の出品作で唯一）の強さがある。タイトル以外に、タイポグラフィといった言葉での説明が一切ないが、社会的メッセージがよく伝わり、ヴィジュアル・コミュニケーションが成立している。

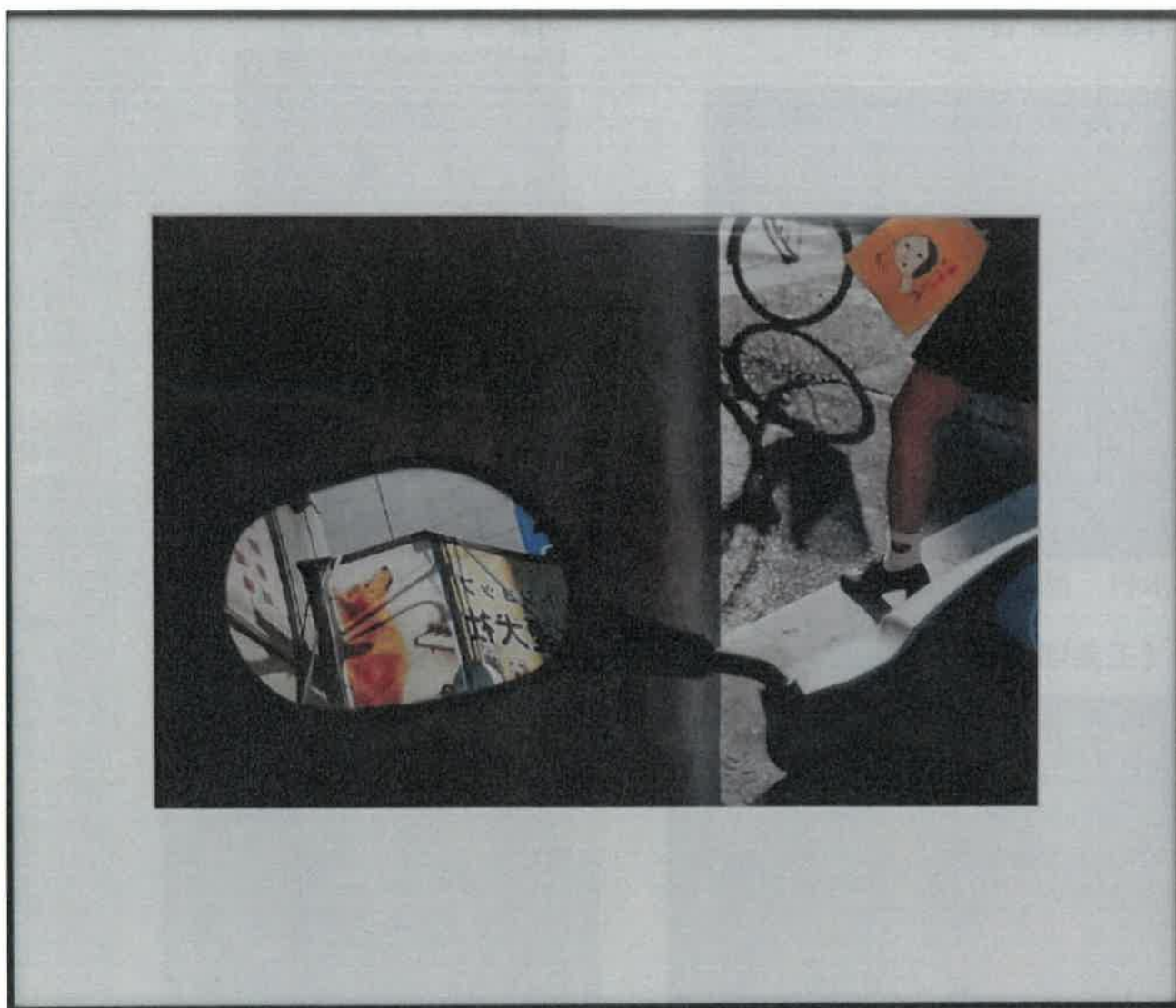
【兵庫県芸術文化協会賞】

該当作なし

【伊藤文化財団賞】

該当作なし

2017 県展 特席 県展大賞 受賞作品



西川 光子 《ミラー》

2017県展 一席 部門大賞（知事賞）受賞作品

【絵画部門】



木村 晃子《悠遠》

【彫刻・立体部門】



藪下 実《ゆらぎ》

【工芸部門】



山下 茜里《君が映る》

【デザイン部門】



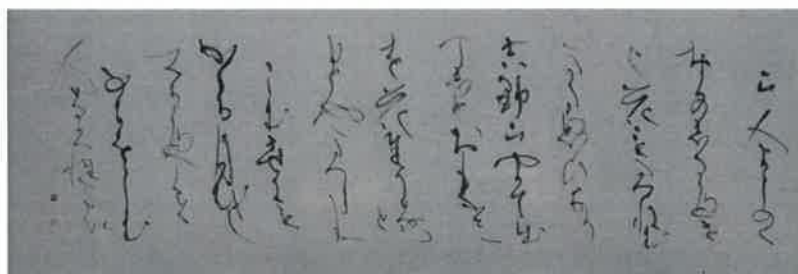
高田 哲男《CRY-SIS》

【写真部門】



西川 光子《ミラー》

【書部門】



西川 純子《花をたづぬ》